

日本建築仕上材工業会登録

放散等級  
区分表示 F☆☆☆☆

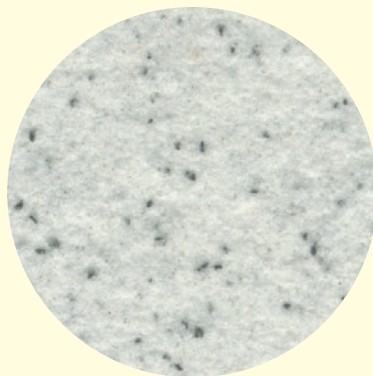
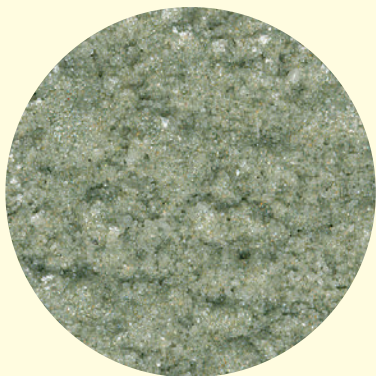
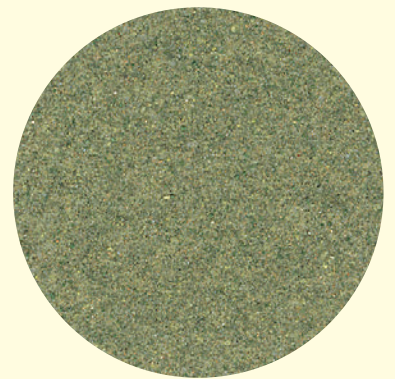
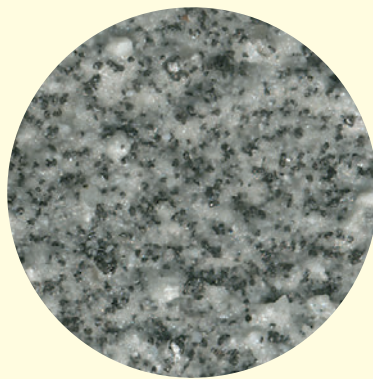
居室内外での使用面積制限はありません

吹付け陶磁器調模様仕上げ塗材

ニッペ

ジキトーンセラ®

ジキトーンカフェ®





# 薄付け陶磁器調模様仕上げ塗材 ジキトーンカフェ

**低コストで  
高質感**

●薄付けタイプの陶磁器調仕上げ塗材なので、厚付けタイプの材料に比較して、塗り面積が広くコストパフォーマンスにすぐれます。

**色彩  
デザイン**

●提案色以外に調色が可能なので、特注色も対応できます。  
●内部、外部を問わずに使用できます。  
●タイルやレンガに特有の黒点も、お好みに合わせて、全色で選べます。  
●吹き付け後の仕上がり模様は凹凸、キャスト、平滑などから選べます。

**施工性**

●角やコーナー、柱など、タイル貼りでは対応が難しい局面でも、無駄なく簡単に施工できます。  
●軽量なため旧塗膜を含めほとんどの素地に適用できます。

**耐久性**

●上塗りに非黄変性のニッペジキトーンUクリアーを使用しますので、変色が少なく、耐候性・耐水性・耐汚染性にすぐれています。(内部など耐候性が必要とならない部位ではクリアーレスの仕様も可能で、この場合はオール水性仕様となります。)  
●高い密着性を持つ塗料のため、剥落の心配がありません。

# 厚付け陶磁器調模様仕上げ塗材 ジキトーンセラ

**重厚な  
質感**

●厚付けタイプの陶磁器調仕上げ塗材で、重厚な仕上がりが得られます。

**幅広い  
意匠**

●3タイプの仕上げ模様(凹凸模様、キャスト模様、平滑模様)によって、幅広い意匠の演出が可能です。

**耐久性**

●上塗りに非黄変性のニッペジキトーンUクリアーを使用しますので、変色が少なく、耐候性・耐水性・耐汚染性にすぐれています。

## ■目地色



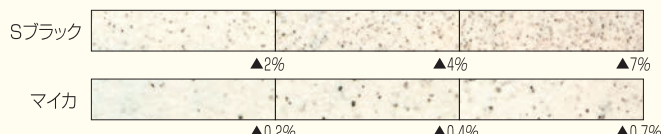
ライトグレー



ダークグレー

目地テープ(目地棒)は、特に指定しておりません。市販品をお使いください。

## ■アクセントフレーク (アクセントフレークを増やすことにより色相・デザインの微調整)ができます。全色特注色あつかいとなります。



## ■仕上げ模様

以下の仕上げパターンからお好みの仕上げを選びます。

※写真サンプルのため、実際の仕上がりとは若干異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。



▲平滑模様仕上げ



▲凹凸模様仕上げ



▲キャスト模様仕上げ

## 標準塗装仕様

●平滑模様(目地なし仕上げ) (※新設およびリシン面、モルタルのカキ落としなど下地が平滑な場合や、吹付けタイル・スタッコ面などの旧塗膜の凹凸を生かしたい場合の塗り替え)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	打継ぎ段差、目違いなどは、あらかじめ樹脂モルタルで補修し全面セメントフィラーなどで調整してください。ごみ粉化物などを除去し、清浄な面としてください。(含水率10%以下、pH10以下)						
下塗り	ニッペ1液ファインシーラー	1	0.15~0.19	3時間以上	—	—	はけ・ローラー(ウール) エアレススプレー
中塗り	ニッペジキトーンカフェ	1	1.60~1.80	16時間以上	水道水	2~5	吹付け(万能ガン) φ6~8mm
上塗り	ニッペジキトーンUクリアー	2	0.10~0.16	2時間以上	ニッペ建築ウレタン用シンナー	40~60 50~80	はけ・ローラー(ウール) エアレス・エアスプレー

●平滑模様(目地仕上げ) (※新設およびリシン面、モルタルのカキ落としなど下地が平滑な場合や、吹付けタイル・スタッコ面などの旧塗膜の凹凸を生かしたい場合の塗り替え)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	打継ぎ段差、目違いなどは、あらかじめ樹脂モルタルで補修し全面セメントフィラーなどで調整してください。ごみ粉化物などを除去し、清浄な面としてください。(含水率10%以下、pH10以下)						
下塗り(目地着色)	ニッペアンダーフィラーS(目地用)	1	0.60~1.00	16時間以上	水道水	3~8 0~2	吹付け(万能ガン) φ4~6mm ローラー
目地貼り	設計・元請の指示に従い目地割りし、水盛、下け振りまたはトランシットを使用して墨を打ってください。目地テープ(目地棒)を墨に沿って正確に貼り付けてください。						
中塗り	ニッペジキトーンカフェ	1	1.60~1.80	16時間以上	水道水	2~5	吹付け(万能ガン) φ8~10mm
目地外し	ニッペジキトーンカフェ塗装後直ちに左右の方向へ連続してはがしてください。						
上塗り	ニッペジキトーンUクリアー	2	0.10~0.16	2時間以上	ニッペ建築ウレタン用シンナー	40~60 50~80	はけ・ローラー(ウール) エアレス・エアスプレー

※ニッペアンダーフィラーS(目地用)は、必ず全面に塗付ください。また、淡彩色の場合は少し暗めの色相で仕上がりますので、塗り板での確認をおすすめします。

●凹凸模様・キャスト模様(※新設およびリシン面、モルタルのカキ落としなど下地が平滑な場合、新たに模様をつける塗り替え)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	
素地調整	打継ぎ段差、目違いなどは、あらかじめ樹脂モルタルで補修し全面セメントフィラーなどで調整してください。ごみ粉化物などを除去し、清浄な面としてください。(含水率10%以下、pH10以下)							
下塗り	ニッペ1液ファインシーラー	1	0.15~0.19	3時間以上	—	—	はけ・ローラー(ウール) エアレススプレー	
中塗り	ベース吹き	ニッペジキトーンカフェ	1	1.40~1.60	3時間以上	水道水	2~5	吹付け(万能ガン) φ6~8mm
	模様吹き	ニッペジキトーンカフェ	1	1.00~1.20	16時間以上	水道水	1~3	吹付け(万能ガン) φ8~10mm
ヘッド押さえ	ニッペジキトーンカフェ模様吹き直後、プラスチック押さえ用ローラーに水道水を付け凸部を押さえてください。							
上塗り	ニッペジキトーンUクリアー	2	0.10~0.16	2時間以上	ニッペ建築ウレタン用シンナー	40~60 50~80	はけ・ローラー(ウール) エアレス・エアスプレー	

※上記の数値は、すべて標準の数値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などにより増減しますので、あらかじめ試し塗りをして確認してください。

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定します。※シーラーはほかにウルトラシーラーⅢ(ホワイト・透明)もあります。

※上塗りはほかにニッペジキトーンUクリアー3分つや有り、ニッペジキトーン水性クリアーつや有り、3分つや有りもがあります。※ヘッド押さえは、キャスト模様の場合のみの工程になります。

## ■下地処理について

下地の種類	下地処理材	備考
R C	ニッペ1液ファインシーラー(注-1)	●付着性向上のため、溶剤形シーラーを使用する
P C	ニッペ浸透性シーラー ニッペ液浸透シーラー	●表面のアルカリ度が高く、また平滑すぎるので、付着性向上のため溶剤形シーラーを使用する
モルタル	ニッペ1液ファインシーラー(注-1)	●表面のアルカリ度が高く、また平滑なので、付着性向上のためシーラーを使用する
ALC	ニッペフィラー200 ニッペ1材カチオンフィラー(注-2)	●基材強度が低いので、吹き付けすぎに注意。ALC基材強度に対し塗材の使用量が多くなると、基材が塗材に起こされ、はかれ・剥れなどが発生する可能性があります ●パネルのジョイント目地部は化粧目地として露出させる(目地部を充填した上に施工すると亀裂の入りおそれがあります)
押し出し成形板(注-3)	ニッペ浸透性シーラー	●表面が平滑なので、付着性向上のため溶剤形シーラーを使用する
旧塗膜(改修)	ニッペウルトラシーラーⅢ ニッペ1液ファインシーラー ニッペ浸透性シーラー ニッペ液浸透シーラー(注-4)	●旧塗膜が弱い弱い場合(付着強度0.5N/ml(5.1kgf/cm)未満)は、ワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパーなどで旧塗膜を完全に除去する

(注-1)ニッペ1液ファインシーラーのほかにニッペファイン浸透シーラー・ホワイト・透明・浸透性シーラー、ニッペ液浸透シーラーも使用できます。

(注-2)フィラー200、ニッペ1材カチオンフィラー塗付後、溶剤系シーラーをご使用ください。  
(注-3)シーラー塗装板など種類が多いため、あらかじめ付着性を調査しておいてください。

(注-4)セメントリシン、スタッコなどの無機質系素材の場合にはニッペ浸透性シーラーをご使用ください。なお、塗り替えの場合の下地処理については、旧塗膜を十分調査して適切な下地調整およびシーラーの選定を行ってください。(別途当社にご相談ください)

## ■仕上げ模様

以下の仕上げパターンからお好みの仕上げを選びます。

※写真サンプルのため、実際の仕上がりとは若干異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。



▲凹凸模様仕上げ



▲キャスト模様仕上げ



▲平滑模様仕上げ

## 標準塗装仕様

●平滑模様(※新設およびリシン面、モルタルのカキ落としなど下地が平滑な場合や、吹付けタイル・スタッコ面などの旧塗膜の凹凸を生かしたい場合の塗り替え)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	
素地調整	大きな打継ぎ段差、目違いなどは、あらかじめ樹脂モルタルで補修し全面セメントフィラーなどで調整してください。ごみ粉化物などを除去し、清浄な面としてください。(含水率10%以下、pH10以下)							
下塗り	ニッペ1液ファインシーラー	1	0.15~0.19	3時間以上	—	—	はけ・ローラー(ウール) エアレススプレー	
中塗り	ベース吹き	ニッペジキトーンセラ	1	1.50~2.00	3時間以上	水道水	2~5	吹付け(万能ガン) φ6~8mm
	模様吹き	ニッペジキトーンセラ	1	1.50~2.00	24時間以上	水道水	1~3	吹付け(万能ガン) φ5~6mm
上塗り	ニッペジキトーンUクリアー	2	0.10~0.16	2時間以上	ニッペ建築ウレタン用シンナー	40~60 50~80	はけ・ローラー(ウール) エアレス・エアスプレー	

●凹凸模様(※新設およびリシン面、モルタルのカキ落としなど下地が平滑な場合、新たに模様をつける塗り替え)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	
素地調整	大きな打継ぎ段差、目違いなどは、あらかじめ樹脂モルタルで補修し全面セメントフィラーなどで調整してください。ごみ粉化物などを除去し、清浄な面としてください。(含水率10%以下、pH10以下)							
下塗り	ニッペ1液ファインシーラー	1	0.15~0.19	3時間以上	—	—	はけ・ローラー(ウール) エアレススプレー	
中塗り	ベース吹き	ニッペジキトーンセラ	1	2.00~2.50	3時間以上	水道水	2~5	吹付け(万能ガン) φ6~8mm
	模様吹き	ニッペジキトーンセラ	1	2.50~3.00	24時間以上	水道水	1~3	吹付け(万能ガン) φ8~10mm
上塗り	ニッペジキトーンUクリアー	2	0.10~0.16	2時間以上	ニッペ建築ウレタン用シンナー	40~60 50~80	はけ・ローラー(ウール) エアレス・エアスプレー	

●キャスト模様(※新設およびリシン面、モルタルのカキ落としなど下地が平滑な場合、新たに模様をつける塗り替え)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	
素地調整	大きな打継ぎ段差、目違いなどは、あらかじめ樹脂モルタルで補修し全面セメントフィラーなどで調整してください。ごみ粉化物などを除去し、清浄な面としてください。(含水率10%以下、pH10以下)							
下塗り	ニッペ1液ファインシーラー	1	0.15~0.19	3時間以上	—	—	はけ・ローラー(ウール) エアレススプレー	
中塗り	ベース吹き	ニッペジキトーンセラ	1	2.00~2.50	3時間以上	水道水	2~4	吹付け(万能ガン) φ6~8mm
	模様吹き	ニッペジキトーンセラ	1	2.50~3.00	24時間以上	水道水	1~3	吹付け(万能ガン) φ8~10mm
ヘッド押さえ	模様吹き後(20分以内)に、プラスチック押さえ用ローラーに水道水を付け凸部を押さえてください。							
上塗り	ニッペジキトーンUクリアー	2	0.10~0.16	2時間以上	ニッペ建築ウレタン用シンナー	40~60 50~80	はけ・ローラー(ウール) エアレス・エアスプレー	

※ヘッド押さえには必ず水道水を使用してください。(灯油、軽油、塗料用シンナーの使用は避けてください)

※上記の数値は、すべて標準の数値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などにより増減しますので、あらかじめ試し塗りをして確認してください。

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定します。※コンプレッサーは3馬力以上のものを使用してください。



# ジキトーンカフェ

## 製品体系

種類	製品名	系統	容量	色相	つや	塗り面積/ 缶当たり/1工程	ポットライフ (23℃)
下塗り材	ニッペ1液 ファインシーラー	ターベン可溶1液 反応硬化形 エポキシ系下塗り材	14kg	透明	—	74~93㎡	—
	ニッペファイン 浸透シーラー (ホワイト・透明)	ターベン可溶2液形 エポキシ樹脂シーラー	15kg	白・透明	—	75~94㎡	6時間
	ニッペウルトラシーラーII (ホワイト・透明)	水性特殊高分子 下塗り材	15kg	白・透明	—	93~150㎡	—
下地調整材	ニッペアンダーファイナ-5 (目地用)	内外部用 下地調整材	20kg	ライトグレー タークグレー	つや消し	20~33㎡	—
中塗り材	ニッペジキトーン カフェ	薄付け陶磁器調模様 仕上げ塗材	20kg	各色	つや消し	11~12㎡ (平滑模様)	—
上塗り材	ニッペジキトーン リクリヤー	イソシアネート硬化形 ウレタン樹脂クリヤー塗料	18kgセット (15kg 3kg)	透明	つや有り 3つや有り	112~180㎡	8時間
	ニッペジキトーン 水性シリコンクリヤー	水性アクリル シリコン樹脂クリヤー塗料	15kg		100~125㎡	—	

適用下地 ●コンクリート面(現地打ち) ●モルタル仕上げ面 ●塗り替え改修用(アクリルリシン、厚付けケレン、その他樹脂塗料) ●ALCパネル

\*上記に記載されている1缶当たりの塗り面積は、1工程当たりの塗り面積です。あくまでも目安であり、素地の形状、塗装方法などにより増減しますので、あらかじめご了承ください。  
\*2液形塗料は、塗料液に硬化剤を加えてかきはんし、ポットライフ時間以内に使用してください。  
\*上記下塗り以外に、水性カチオンシーラー(透明・ホワイト)も使用できます。

## ■施工上の要点と注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)

1. 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は、塗装を避けてください。
2. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
3. 外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
4. 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分に行ってください。
5. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化したのちに行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
6. たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
7. 塗装後24時間以内に、降雨、結露などがありませんと、白化、しみが残ることがあります。
8. 低温、高湿度、通風のない場合は、白化、しみが残ることがあります。
9. 竝木、天端など長時間水が滞留する箇所では、塗膜の白化、割れなどが発生する場合がありますので塗装は避けてください。
10. 表面のごみ、ほこりなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
11. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
12. 素地の乾燥は十分に行ってください。
13. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合には、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンファイナ、ニッペファイナ-200)などで処理してください。
14. 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最高の営業所などにご相談ください。
15. 下地に濃い色むらがある場合に、白に近い中塗りを選択すると、色むらが発生する場合があります。下地の色むらは、塗料などを下塗りし行うことで調整してください。
16. 塗料は内容物が均一になるようによくかきはんしてください。薄めすぎは癒べい力不足、仕上り不良などが起こりますので注意してください。
17. よごれ、きずなどにより補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。
18. 各工程の塗装間隔は、所定の塗り重ね乾燥時間を厳守してください。
19. 溶剤系塗料を室内で塗装する場合は、必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
20. 面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。
21. 溶剤系シーラーを改修工事に使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤系の影響により、旧塗膜を浸し、溶剤膨れや縮みなどの異常が発生することがあります。
22. 旧塗膜が弱い場合(付着0.5N/㎡(5.1kgf/㎡)未満)は、ワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパーなどで旧塗膜を完全に除去してください。
23. 目地仕上げで、旧塗膜の劣化が著しい場合や吸込みがある場合は、下塗りの前に溶剤系シーラーをご使用ください。
24. 素材の強アルカリ性が予想される場合は、エプロンが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。
25. ベース吹きは1回の吹付けで下地を完全に隠すように念入りに塗装してください。
26. 仕上がり模様は、試し塗りを先行し希釈率、使用量など条件などを設定してから、本施工に入ってください。希釈率、使用量の過不足や施工道具の種類によって骨材の発色性や仕上がりパターンが標準見本と異なることがあります。
27. 主原料は天然の材料を使用していますので、多少の色違い、またロット差による多少の色相のずれは、予めご了承ください。
28. 上塗りは耐候性向上のため、必ず塗装し、塗り残しにご注意ください。
29. ニッペジキトーンリクリヤーへの水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
30. ニッペジキトーンリクリヤー硬化剤は、湿気硬化しますので密栓して貯蔵してください。
31. ニッペジキトーンリクリヤーは2液形です。所定の割合で混合し、ポットライフ(8時間/23℃)以内に使用してください。
32. 下地の状態や形状、面積、塗装方法などによって、見本と色調およびパターンが、多少異なる場合があります。予めご了承ください。
33. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

# ジキトーンセラ

## 製品体系

種類	製品名	系統	容量	色相	つや	塗り面積/ 缶当たり/1工程	ポットライフ (23℃)
下塗り材	ニッペ1液 ファインシーラー	ターベン可溶1液 反応硬化形 エポキシ系下塗り材	14kg	透明	—	74~93㎡	—
	ニッペファイン 浸透シーラー (ホワイト・透明)	ターベン可溶2液形 エポキシ樹脂シーラー	15kg	白・透明	—	75~94㎡	6時間
	ニッペウルトラシーラーII (ホワイト・透明)	水性特殊高分子 下塗り材	15kg	白・透明	—	93~150㎡	—
中塗り材	ニッペジキトーン セラベース	厚付け陶磁器調 仕上げ塗材	20kg	各色	つや消し	5~6㎡ (平滑模様、 2回塗り)	—
上塗り材	ニッペジキトーン リクリヤー	イソシアネート硬化形 ウレタン樹脂クリヤー塗料	18kgセット (15kg 3kg)	透明	つや有り 3つや有り	112~180㎡	8時間
	ニッペジキトーン 水性シリコンクリヤー	水性アクリル シリコン樹脂クリヤー塗料	15kg		100~125㎡	—	

適用下地 ●コンクリート面(現地打ち) ●モルタル仕上げ面 ●塗り替え改修用(アクリルリシン、厚付けケレン、その他樹脂塗料) ●ALCパネル

- 施工上の要点と注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)
1. 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最高の営業所などにご相談ください。
  15. 下地に濃い色むらがある場合に、白に近い中塗りを選択すると、色むらが発生する場合があります。下地の色むらは、塗料などを下塗りし行うことで調整してください。
  16. 塗料は内容物が均一になるようによくかきはんしてください。薄めすぎは癒べい力不足、仕上り不良などが起こりますので注意してください。
  17. よごれ、きずなどにより補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。
  18. 各工程の塗装間隔は、所定の塗り重ね乾燥時間を厳守してください。
  19. 溶剤系塗料を室内で塗装する場合は、必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
  20. 面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。
  21. 溶剤系シーラーを改修工事に使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤系の影響により、旧塗膜を浸し、溶剤膨れや縮みなどの異常が発生することがあります。
  22. 旧塗膜が弱い場合(付着0.5N/㎡(5.1kgf/㎡)未満)は、ワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパーなどで旧塗膜を完全に除去してください。
  23. 目地仕上げで、旧塗膜の劣化が著しい場合や吸込みがある場合は、下塗りの前に溶剤系シーラーをご使用ください。
  24. 素材の強アルカリ性が予想される場合は、エプロンが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。
  25. ベース吹きは1回の吹付けで下地を完全に隠すように念入りに塗装してください。
  26. 仕上がり模様は、試し塗りを先行し希釈率、使用量など条件などを設定してから、本施工に入ってください。希釈率、使用量の過不足や施工道具の種類によって骨材の発色性や仕上がりパターンが標準見本と異なることがあります。
  27. 主原料は天然の材料を使用していますので、多少の色違い、またロット差による多少の色相のずれは、予めご了承ください。
  28. 上塗りは耐候性向上のため、必ず塗装し、塗り残しにご注意ください。
  29. ニッペジキトーンリクリヤーへの水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
  30. ニッペジキトーンリクリヤー硬化剤は、湿気硬化しますので密栓して貯蔵してください。
  31. ニッペジキトーンリクリヤーは2液形です。所定の割合で混合し、ポットライフ(8時間/23℃)以内に使用してください。
  32. 下地の状態や形状、面積、塗装方法などによって、見本と色調およびパターンが、多少異なる場合があります。予めご了承ください。
  33. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

## ジキトーンカフェ 追加記載事項

曇出しは意匠に大きな影響を与えますので正確に行ってください。  
目地仕上げの下塗りニッペアンダーファイナ-5(目地用)は、目地テープの付着性向上および外観の点からできるだけ平滑に塗装してください。

## ジキトーンセラ 追加記載事項

- ・塗り替えの場合の下地処理については旧塗膜を十分調査して、適切な下地調整およびシーラーの選択を行ってください。(別途当社にご相談ください。)
- ・キャスト模様の場合のヘッド押さえは、タイミングを計ったうえ、行ってください。その場合、必ず水道水を使用してください。(灯油、軽油、塗料用ソナーの使用は避けてください。)
- ・ニッペジキトーンセラは厚付けであるため、夜間の気温が氷点下になるおそれがある場合、午後3時まで作業を打ち切ってください。

## 安全衛生上の注意事項(ニッペジキトーンカフェ NJ-802A)

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
3. 粉じん / ガス / 蒸気 / スプレー等を吸入しないでください。
4. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
5. 汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
6. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
7. 適切な保護手袋 / 防毒マスクまたは防じんマスク / 保護眼鏡 / 保護面 / 保護衣を着用してください。
8. 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
9. 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
10. 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
11. 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断 / 手当てを受けてください。
12. 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください / 取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
13. 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
14. 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
15. 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。

16. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
17. 施設にて子供の届かないところに保管してください。
18. 直射日光や水濡れは厳禁です。
19. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
20. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる際には、適切なり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取手が外れ、落下事故の危険があります。)
21. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
22. 内容物 / 容器を廃棄する時には、国 / 地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
23. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
24. 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

\*上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
 記載されていない各製品の安全衛生上の注意事項につきましては、各製品の安全データシート(SDS)をご参照ください。  
 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

## 危険



## 危険有害性情報

発がんのおそれ / 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ / 臓器の障害のおそれ(単回ばく露) / 水生生物に有害

# 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101  
東北支店 ☎022-232-6712  
関東支店 ☎03-5479-3614  
関東東信越支店 ☎03-5479-3614  
中部支店 ☎052-461-1960

近畿支店 ☎06-6455-9608  
中国支店 ☎082-281-2180  
四国支店 ☎0877-56-2346  
九州支店 ☎092-751-9861

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-W072

TY180701T

2018年7月現在